

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	銀河鉄道		
○保護者評価実施期間	令和8年2月6日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	93 (回答者数)	44
○従業者評価実施期間	令和8年2月6日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感と信頼 多くの保護者が、お子様が安心して楽しみに通っていることを述べており、安心感を重視した支援が評価されています。保護者から「先生に会えるのが嬉しい」や「帰る時に楽しかったと言っている」といった声があり、子どもたちにとって居心地の良い環境が整っていることが強みです。	個別対応と配慮 事業所はお子様一人ひとりの特性に合わせた支援を行い、子どもたちの安心感を大切にしています。例えば、子どもの気持ちや特性に配慮し、無理なく活動に参加できるよう工夫されています。保護者からも「本人の特性を理解して支援してくれている」との声があり、個別対応に力を入れていることが伝わってよかったです。	情報提供の強化と透明性の向上 保護者が活動内容や避難訓練の実施状況についてもう少し詳しく把握できるよう、事前にスケジュールや内容を明確にお伝えすることが重要です。また、活動の目的や進行状況についても、定期的にフィードバックを提供することで、保護者に安心感と信頼を持っていただけるような仕組みを作りたいと思います。
2	親身で丁寧な対応 先生方が親身で丁寧に対応していることが、保護者から高く評価されています。相談にも快く応じ、安心してサポートを受けられる環境が整っており、保護者から「優しく丁寧に対応していただきありがたい」との感謝の言葉があり、信頼感を築いています。	連絡手段の多様化と情報提供 LINEやインスタグラムを活用して、保護者に活動の様子を手軽に伝える工夫がなされています。これにより、保護者がどこにいても活動の様子を確認でき、安心感を持ってもらえるようになっています。また、活動の写真にスタンプを使うなど、プライバシーに配慮している点も評価されています。	多様な連絡手段の提供 LINE以外の連絡手段も提供し、保護者が自分に合った方法で気軽に連絡できるようにすることで、より便利でアクセスしやすいコミュニケーション環境を作ることができます。例えば、療育相談日を作り、保護者の不安や疑問に迅速に対応できるようにします。
3	保護者支援の充実 面談や相談、ペアレントトレーニング等を通して、保護者の方と共に子どもの姿を理解し、関わり方を考えていく支援を行っています。 保護者の方が安心して子育てに向き合えることが、子どもの安心や成長につながると考えています。	保護者との対話の時間 面談や相談、ペアレントトレーニング等を通して、子どもの姿を共有しながら、家庭での関わり方を具体的に考えられるよう工夫しています。 日常の困りごとにも相談しやすい関係づくりを大切にし、保護者の方と一緒に子どもの成長を支えていく支援を行っています。	さらなる相談できる場の提供 保護者支援の充実を図るため、子育て相談サロンや療育相談日の設置を検討し、より相談しやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。 保護者の方が安心して子育てに向き合えることが、子どもの安心や成長につながると考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援の機会が十分とは言えない点 面談や相談の機会は設けているものの、保護者がより気軽に相談できる機会や、継続的に学べる場については、さらに充実させていく必要があると感じています。	・日々の療育や送迎対応の中では、保護者とゆっくり話す時間の確保が難しい場合がある ・相談は個別対応が中心となり、継続的に学べる機会や気軽に相談できる場が十分に整っていない ・保護者の就労状況等により、参加しやすい時間設定の工夫が必要	・子育て相談サロンや療育相談日の設置など、気軽に相談できる機会を増やす ・ペアレントトレーニングの継続的な実施により、家庭での関わり方を学べる機会をつくる ・保護者の状況に配慮した参加しやすい時間設定や実施方法を検討する
2	支援の意図や専門性が保護者に十分伝わりにくい場合がある点 日々の療育の中で大切にしている視点や関わり方について、より分かりやすく共有し、理解につなげていく工夫が必要であると考えています。	・療育の中で大切にしている関わり方や支援の目的が、日常の短いやり取りの中では十分に伝えきれないことがある ・専門的な視点や意図が言葉で共有されにくく、結果として支援の意味が分かりづらくなる場合がある ・保護者と支援の方向性を共有する機会をより充実させる必要がある	・面談や日々のやり取りの中で、支援の目的や関わり方の意図を丁寧に伝える ・療育参観や銀河鉄道だより等の機会を活用し、支援の視点を共有する ・具体的な関わり方の例を示し、家庭で実践しやすい形で伝える
3	職員間での支援の共有や統一のさらなる向上が必要な点 支援の質を安定させるために、ケースの共有や振り返りの機会を充実させ、チームとしての共通理解をより深めていく必要があると感じています。	・日々の業務の中で、支援方法や子どもの変化について十分な共有時間が確保しづらい場合がある ・個々の経験や視点により支援方法に差が生じることがある ・共通理解を深めるための振り返りや検討の機会を継続的に設けていく必要がある	・ケース検討や振り返りの時間を確保し、支援方法を共有する ・支援の視点や関わり方について共通理解を深めるための研修を実施する ・記録や情報共有の方法を整理し、継続した支援につなげる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 銀河鉄道

公表日 8年 3月 31日

利用児童数 93

回収数 44

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	2	0	1	・子どもの人数が多い時は狭いかなと思います。 ・走れるくらいのスペースがあり、子どもめいっぱい動きまわっています。 ・教室の数も広さもちょうど良いと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36	2	0	6	・職員の数が多い日もありますが。 ・沢山の先生がいて安心です。 ・担任制がなくなってからのクラスに何人の先生がいるかなどわからなくなった。 ・沢山の先生がよく見て下さり安心できます。 ・子どもをよく見てくれています。会うと必ず子どもに声を掛けてくれます。	お子さんのニーズに合わせた活動に参加してもらおうと、一クラスに固定が難しくなりました。お子さまにとっては良い環境ですが、保護者にとっては、どの職員に話せばよいかわからないと御意見いただきました。相談できる窓口を考えていきたいです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	3	0	2	・情報伝達についてはよくわかりません。 ・安心できる環境だと思っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	2	0	0	・トイレが使用しにくかったです。 ・いつもきれいで明るい印象です。 ・いつもきれいです。 ・床もきれいに掃除されていて安心します。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	1	0	0	・通い始めてから変化がちゃんとありました。 ・楽しんで毎日通っています。 ・先生方は子どもに特性を感じ取って対応されていると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	1	0	1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	1	0	0	・ていねいに作成していただいています。 ・適宜モニタリングを通して計画を見直し、適切な援助、計画を立ててくれています。 ・カウンセリング、モニタリングもいつも丁寧です。 ・成長過程を考えながら無理のないように目標を立てていただいています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	0	0	2	・楽しみながら少しずつできる事が増えてきたと思います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	2	0	1	・決めた内容が、変わっているので（できたので）そのように思います。 ・毎回先生方が丁寧に活動内容を報告してくれます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	3	0	0	・しっかり話を聞いてくださって取り入れてくれています。 ・今日は〇〇したー！と毎日楽しそうです。 ・様々な活動をしているようです。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	29	6	1	8	・他のこどもとの活動はあまり聞いていない。 ・まだまだ参加できてないです。 ・週1の利用でしたのでわかりません。 ・保育園のイベントにいったー！とか消防車来たー！とか聞きます。 ・（乳児院の）汽車の遊具の方でも遊んでいます。	Instagramにも交流の様子を載せておりますのでそちらもあわせて見ていただけたらと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	1	・すぐ丁寧です。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	0	0	0	・しっかりされています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	0	0	2	・今年は親子dayやほっぼや教室に加えてペアレントトレーニングや交流会など家族支援が増えて、とても勉強になりました。 ・たくさんあります。 ・されているし、参加する子どもも楽しそう！ ・親子で参加できる活動や親の支援のためのプログラムもあったり、すごいなと思います。	ありがとうございます。今後も定期的に行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	40	2	2	0	・しっかり伝達が行われていると思います。 ・伝えてくれているし、相談も気軽にしています。 ・子どもの様子を写真で送ってくれるので分かりやすい。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	3	0	1	・いつも助けられています。 ・アドバイスをいただけるので助かります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	2	1	1	・すごく優しいです（みんな）	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	35	2	1	6	・まだまだ参加できていません。 ・楽しく参加させていただいています。 ・ぼっぼや教室があり、きょうだいも楽しく参加できそう。 ・きょうだい向けのイベントはともに楽しめるので参加したいです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	1	1	1	・すぐ対応していただいています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	5	0	0	・情報はいまいちかと。 ・お話しもしっかりしてくれます。	情報の伝達今後もしていきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	40	1	0	1	・おたより等もラインで来るし、連絡もラインでできて便利です。 ・ラインで写真を送ってくれます。インスタもチェックしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	1	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	0	0	8	・毎月訓練が行われていたのもしいです。 ・訓練のスケジュールはあると思いますが様子まではあまりわかりません。	訓練の様子もお伝えできる工夫をしたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	3	0	3	・小さな怪我でもきちんと教えてくれます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40	1	1	0	・攻撃的な子に少し不安があります。 ・（いいえの回答）でも行った後は楽しかったとは言っていました。 ・安心しきっています。 ・先生方や場所にも慣れてきたようで泣かなくなりました。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40	1	1	0	・一人で行くことに不安があります。 ・すごく楽しみにしています。 ・（いいえの回答）でも行った後は楽しかったとは言っていました。 ・すごく楽しんでいます。 ・いつも楽しみにしていました。 ・「ぎんがいく？」と言葉を発して楽しみにしているようです。 ・毎回楽しみにしていました。	不安はあるかと思いますが、安心して通っていたらよいように努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	3	0	0	・まだすべてを理解できていません。 ・支援と共に子どもに対して愛情をもって接していただき、とても感謝しています。卒業したくないです。 ・とても満足しています。 ・今のところ子どもは週1で銀河に通っているのですが、全く不満はありません。逆に言えば週1しか通っていないので正直私も保護者として銀河に行く機会が少ないと感じています（もちろんこれは自分や家族、子ども自身の都合もあります）。職員の皆さんが本当に優しく、いつも親身に話を聞いてくださっています。子どもも銀河で過ごしている時間、日についていつも楽しそうで、バスもすごく楽しんでいます。本人も満足かと思えます。いつもありがとうございます。 ・以前より、何とか距離ができたようには感じていました。担任制がなくなったりよくわからない、と思う時もありました。 ・とても満足です。 ・満足しています。いつもありがとうございます。 ・安心して預けることができとても満足しています。 ・銀河鉄道さんに通わせていただいていたって本当に良かったです。親子ともども満足です。	ご利用日数が少なくなっしまい申し訳ございません。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	銀河鉄道				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		・廊下などに物が多い。通路なのに移動がしにくいので、もう少し片付けたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		・外部の研修で学んだ内容について事業所内で伝達研修を行い共有している。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		・非常動には伝わってこない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		・打ち合わせがない日が多く、今年度は戸惑うことが多くあった。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	5	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0			
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
		46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
		48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
		49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・再発防止に向けた方策を検討されているだろうが、現場でどう対応するまでは聞いたことがない。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0				